
心の乱れとは @ 2 5

ビビンバ吉田

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心の乱れとは @25

【Nコード】

N1350M

【作者名】

ビビンバ吉田

【あらすじ】

心が乱れる話。

さらりと読み流して、なんだかわからないけど心が乱れるとはそういうものだ、と思ってもらえれば御の字。

今日も平和だった。

どのくらい平和かというと、ありつたけの山芋をすりつぶして海に流し込み、海水浴に来た人が今日の波はなんだかねっとりしてるなあとと思うのも束の間、全身を猛烈なかゆみに襲われるのを想像して自分もかゆくなりだすくらいに平和だった。

今日も家路につき、留守番電話を確認する。

1件。

再生ボタンを押す。

「太陽の唯一の失敗は静物画じゃなかったことよね」

……。

やはり彼女からだった。

…… 太陽？

太陽の失敗談なんて、聞いたことがない。

そもそも太陽に対して、何らかの評価を下そうと考えたことすら無い僕にはピンとこないのが本音だ。その点、彼女は太陽に対して思うところがあり、しかも「唯一」としている事から、太陽の他の部分は認めているということだ。

そういえば太陽は何故「太い」「陽」なのだろう。別に太ってないのに。太陽だと大腸と見間違えやすいからとしか思えない。しかし文字割り当ては人間が行っていることだから太陽側に責任はない。それより彼女の言葉だ。

彼女に言わせれば太陽は静物画でなかった事が失敗だった。それは存在形態自体に問題があったということであり、これを覆すのは不可能だ。これからも失敗したままで光を放ち続けなければならず、そう考えると窓に差し込んでいる夕陽の光も憂いを帯びているように思えてくる。

だが何故太陽は静物画でなかった事が失敗だったのだろうか。

当然、静物画だった場合のメリットがあり、すばらしい存在になり得たと考えたからこそ失敗だったと彼女は言っているはず。

静物画とは何らかの静物を描いたものを指すが、「太陽が静物画」というのがどういう物なのか最初に考えてみよう。

どこかに太陽が存在し、それを絵として描いたものは太陽の画だ。この場合はどこかに太陽本体が存在する事を意味している。太陽がどこかに存在している時点で「太陽が静物画」という定義からはずれてしまう。

なんだかややこしい。

「太陽が静物画」という定義をきちんと念頭に置いてみなければ。

「太陽が静物画」は「太陽」静物画」だから、現在太陽がある位置に静物画がある状態、という意味の方が正しそうだ。

画自体に描かれているものは何でも良く、極端な話、静物のみで構成されていれば漫画でもいい。

太陽系全域から読める漫画。しかも原作・ビッグバン、絵・太陽で数十億年続く超大作だ。

……待てよ？

太陽自身が静物画なのだから自分で自分を描いては静物でなくなってしまう。漫画連載を今ある太陽の自転や発光と同じ位置づけと捉えれば説明がつかないこともないが、やはり無理がある。

となると彼女は別に宇宙規模の漫画を読みたいということではなさそうだ。

素直に静物画だった場合のメリットを考えてみよう。

……。

そんなメリット、本当にあるのか？

人類が受けている太陽の恩恵は計り知れず、それを失敗だと言い切れるような汚点が太陽にあるのか、果たして我々が太陽を否定してよいものかすら僕にはわからないほどだが…。

どうしてもあげるといふならば、静物画なら直視しやすくなる。目

がチカチカしない、ということくらいか。

今は光度が高すぎて目がやられる恐れがあるが、静物画ならそんな心配もない。

だがそれ故に太陽が発光しないということになるので、世界が闇に閉ざされてしまう。

同時に人類の繁栄することはほぼ不可能なのではないかと思ってしまう。

それは大変なデメリットでは……。

いや、違う。

それこそが最大のメリットだと彼女は言っているとしたら……。

人類、ひいては地球生命の存在を許したことが太陽の失敗だ、と。

それならつじつまも合おう。

彼女はそこまで地球生命を悪と考えているのか。

わからない。

わからないが今回はかりは僕の推測が当たっていないことを願うばかりだ。

とにかく今日も平和だった。

明日も平和だろう。

（後書き）

元は別サイトにて不定期に連載しているものを
他のサイトの方にも見ていただきたく、投稿しました。

元のサイトでは第25回目の話なのでタイトル部に@25とついで
います。

内容について、どう思われるかは読者の方のもので
特に記載しませーん！。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1350m/>

心の乱れとは @25

2010年12月18日17時30分発行